

第5回 駒沢川流域協議会 要旨

資料

日時：平成20年9月30日（火）午後7時から午後9時

場所：辰野町 小野農民研修センター

出席者：会員25名（H20.9.30現在会員数48名）

議事内容

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 第4回議事録報告 | 別添：資料1 - 1 |
| 2 平成19年度の駒沢川流量観測について | 別添：資料1 - 2 |
| 3 平成19年災害の状況について | 別添：資料1 - 2 |
| 4 駒沢川量水標について | 別添：資料1 - 2 |
| 5 長野県公共事業評価監視委員会について | 別添：資料1 - 2 |
| 6 上伊那地方事務所林務課関係事業報告 | 別添：資料 - 2 |
| 7 意見交換 | |

主な意見・質問及び回答

【1. 第4回議事録報告】

【2. 平成19年度の駒沢川流量観測について】

【3. 平成19年度災害の状況について】

【4. 駒沢川量水標について】

【5. 長野県公共事業評価監視委員会での審議について】

以上、事務局より一括して報告

事務局よりの報告事項

・水位標について、平成19年度に設置しました。

・高橋川の高水状況目視調査も平成19年度に予定していましたが、雨が少なく高水観測が1回しか無かったため、実施できませんでした。今年度は、雨の状況を見て実施を考えています。

質問回答

・県公共事業評価監視委員会としては、駒沢川の治水対策を必要と認識しているのか。（伊那建設事務所：県公共事業評価監視委員会としては、治水対策が決定されたか、されなかったかが判断材料になります。県公共事業評価監視委員会としては、対策が十分か不十分かは判断しません。）

・平成15年、16年と多少荒れたが、今年も局地的豪雨は有るが、台風の直撃は1回も無いし、水が出ない状況にある。今後も大した災害は無いと思われるが、県としての認識はいかがか。

（伊那建設事務所：気象状況変動は認識しています。県としては、流量観測が必要と考えており、5年間のデータを確認解析していきたい。）

【6. 上伊那地方事務所林務課関係事業報告】

以上、事務局より報告

質問回答

・森林整備を進めても、駒沢川の流量維持はできないと考えるがいかがか。

(上伊那地方事務所：県としては、流量維持については、判断しかねます。)

・本地域では、平成15、16、17年と間伐を進めているが、対策を行った地域で林相変化が確認できるのか。

(上伊那地方事務所：確実に下層植生の回復は進んできていると考えています。)

・年1回間伐をする目的は保水でしょうか。間伐材はそのまま置いているのか、搬出しているのか。

(上伊那地方事務所：治山は、間伐して下層植生を戻し地表の土砂流出を抑制する考えです。間伐することによって根張りが広がり、保水力が増すと考えています。

間伐材は、できるだけ搬出したいが、請負業者によっては、搬出ができないところもあります。昨年は沢筋の搬出可能箇所は出しました。)

・計画面積の122haは、主に人工林で計画しているのか。

(上伊那地方事務所：そのとおりです。平成18年までは、計画面積が80haでしたが、その後の見直しで122haに増やしています。)

・計画期間が平成15年から24年までであるが、平面図上では平成20年度まで明示されている。今後の計画はどの辺を予定しているか。

(上伊那地方事務所：今後の予定箇所は、図面の白い空白部分で、平成15年度施工の北及び平成17年度の北、平成18年度の北です。)

・資料-2中、事業実施の趣旨に針広混交林への誘導を図ると記述がありますが、平成15年度から24年度に事業を実施すれば効果が出るのか。

(上伊那地方事務所：きちっと何年で効果が出るとは回答できないが、間伐によって針交混交林への誘導を促進していきたいと考えています。)

・平面図を見ると、県で事業を実施した箇所は沢筋で岩盤であるため間伐事業の効果は少ない所と考えるがいかがか。

地域と打ち合わせしながら、作業地を決めて欲しい。

(上伊那地方事務所：お聞きしておきます。)

【7. 意見交換】

・提示された観測流量表(低水観測)について説明して欲しい。

(伊那建設事務所：提示した観測流量表(低水観測)について観測箇所、観測期間、観測器械等を説明。)

・駒沢川について、今後の進め方、県の方針決定のタイミングについて教えて欲しい。

(伊那建設事務所：県公共事業評価監視委員会では、一時休止方針の諮問が出ました。県公共事業評価監視委員会とは、外部の方に事業再評価について審議して頂く機関です。県の見解は、5年間の流量観測の成果が現状得られていないという認識で、まだ調査が足りないと考えています。県としては、もう暫く調査検討を続ける方針です。平成21年1月に、直ちに一時休止、事業再開等の決定は出ないと考えています。)

・平成18年7月豪雨の例を見ても明らかに駒沢川流域であるとしているエリアに高橋川への流入区域があると考えるが、県としての現在の評価は。

個人的には、治水ダムはいらないと考える。利水ダム単独になった場合の地元負担金の割合は何%か。

(伊那建設事務所：駒沢川と高橋川の流域区分については、即答できません。流量観測結果

の解析によって検討していきたい。)

(辰野町：利水については、取水量によって負担割合が変わってきます。現在町としては、流量観測結果の状況を待っています。)

(伊那建設事務所：現計画の治水利水ダムですと、全体事業費60億円のうち、治水59億円、利水1億円となっています。)

(意見)先程、県として駒沢川流域対策について、今後も十分検討すると回答があったが、現在の観測結果を見るとダムはいらないと考えられる。しかし、平成17,18年には災害の実績も有るので、治水としては河川改修が必要である。また、利水としては水道及び農業用水を全て駒沢川に依存している現状では、流量を維持できていない。以上から治水及び利水の両方とも欠くことができない。この点をお願いしておきたい。

(意見)高橋川には、山からの水以外に春宮団地の雨水排水も合流している現状です。平成18年7月豪雨では、たまたま雨が霧訪山にかからなかったため、大きな被害が出ずに済んだ。この5年間で地球温暖化が進み、集中豪雨も多くなり気象も激変している。単純にデータだけでは判断できないことを申しあげたい。

・個人的には駒沢川の治水上ダムが必要であると考えているが、ある程度のたたき台は県から示されると認識している。いづごろになれば出せますか。

(伊那建設事務所：具体的対策はすぐには回答できません。流量観測解析結果はお示しします。)

・平成18年災害を踏まえると、治水によって災害を防ぐ観点から言えば、駒沢川という一部分だけでなく、小野川本流も入れて全体的に治水対策を検討して欲しいが、県の見解はいかがか。

(伊那建設事務所：平成18年災は大災害でした。現状機能復旧が災害復旧です。最近では土砂災害も多くなっており短時間に人命を奪う土砂災害対策もやっていかなければなりません。この地域に限らず、全ての地域のハード対策を行うことは不可能です。ソフト対策の併用も必要です。辰野町は昨年から今年にかけて土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定も実施しました。このことも県として災害を減らす当面の対応です。)

・塩尻市北小野の別荘開発により小野川の雨量に対する水位の上昇カーブ上がっているのではないかと危惧している。災害を防ぐために小野川全域の河川改修についての話し合いも行って欲しい。

(伊那建設事務所：意見として伺います。)

(意見)森林整備は有効な治水対策であるので、今後も進めてほしい。

(意見)森林整備については、大賛成です。しかしこの地域は森林整備と併せて構造物(砂防ダム等)の併用は必要であると考えます。

(意見)来年の1月に出る県公共事業評価監視委員会の結果が心配です。中止になったら困るので、県の御尽力をお願いしたい。

・平成18年に大災害が起きた。町から防災マップをもらったが、避難所が公民館と示されていた。土砂災害警戒区域の近くであるが町としての見解は。

(辰野町：災害は文字通りハード対策だけでなくソフト対策の併用で行っていきと考えています。避難場所については、町の防災マップを基に各地域で防災マップを作ることをお願いしています。どの場所が安全かを区として検討し、町と相談して欲しい。)

(意見)駒沢ダム予定地上流には、昭和2年築造のコンクリートえん堤があります。現在は満砂状態で用をなしていない。ここ数年災害の度にえん堤上林道が崩れており、復旧で掘り返しを行っている。上流の方へ砂防えん堤を作る計画を立てて欲しい。

・天竜川水系諏訪圏域河川整備計画は策定済みだが、伊那圏域の河川整備計画は存在するの
か。駒沢川もその中には入りますか。

(伊那建設事務所：現在伊那圏域は、河川整備計画の策定準備をしています。駒沢川も、対
象としては河川整備計画の中に入ります。)

・駒沢川流域対策は、国の補助として考えているのか。

(伊那建設事務所：具体的対策内容によって、補助か県単かを検討していきたい。)

・合流点上及び高橋川の流量についてですが、大雨になると水田耕作者は、駒沢川の水位上
昇を懸念して圃場整備地真ん中の大きい水路へ排水し、高橋川へ水を誘導する傾向がある。

現状を歩いて確認しないと正確な流量は把握できないのではないか。

(伊那建設事務所：貴重な意見です。解析の参考にしていきたい。)

(次回開催について)

(伊那建設事務所：次回開催は来年5月頃を予定しています。)